

事務事業名	森林鳥獣被害対策事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	S55 終了		
H29作成課等名	林務課	H29係等名	里山保全係	H28担当課等名 林務課				
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり					
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり					
目的	対象(誰・何を)	人工林有害鳥獣		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	人工林へのカモシカ食害被害防止を図る鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣捕獲等の推進			カモシカによる造林被害団地数(団地)	5		
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)			野生鳥獣捕獲頭数	2620		
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	カモシカ個体調整頭数(頭)		5	5	5	5	
	成果指標	飯田市鳥獣被害対策実施隊員数		218	217	223	227	
	定性目標							
事業概要	<p>1 人工林において、ヒノキの幼齢木等へのカモシカによる食害被害の拡大を防止するため、長野県が定めた特定鳥獣保護管理計画(カモシカ)の捕獲計画に基づき個体数調整を行う事業であり、林業・農業被害の発生を防止するため実施する。</p> <p>2 鳥獣被害対策実施隊員による有害鳥獣捕獲活動を効率的・効果的に行うことにより、農林業者の生産意欲等の低下に歯止めをかけ、農林業の振興を図る。</p>							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	<p>1 カモシカ個体数調整業務委託(飯田市連合猟友会)</p> <p>2 鳥獣被害対策実施隊報酬</p>			<p>1 個体数調整実施頭数 中郷、下栗、熊伏、十原、北方</p> <p>2 鳥獣被害対策実施隊員</p>		<p>1 5頭</p> <p>2 227人</p>		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		2,026	2,889	2,283	0	(そ)鳥獣飼養許可手数料		
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他		109	108	109				
一般財源		1,917	2,781	2,174				
人件費計(千円)②		894	894	894	0			
正規職員所要時間		250	250	250				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		2,920	3,783	3,177	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	カモシカ捕獲は被害のある5団地で5頭捕獲し、農林業への被害軽減を図った。平成26年10月に飯田市鳥獣被害対策実施隊が発足し、捕獲の推進を図ってきている。							
改革改善の考え方	①問題点	1 カモシカについては、特定鳥獣保護管理計画に基づく捕獲を実施しているが、個体数は増加傾向にある。 2 クマ、サル等の緊急時の対応を迅速に行う必要がある。						
	②改革提案	捕獲だけの対策でなく、農地の防護対策等の指導も併せて実施していく必要がある。						